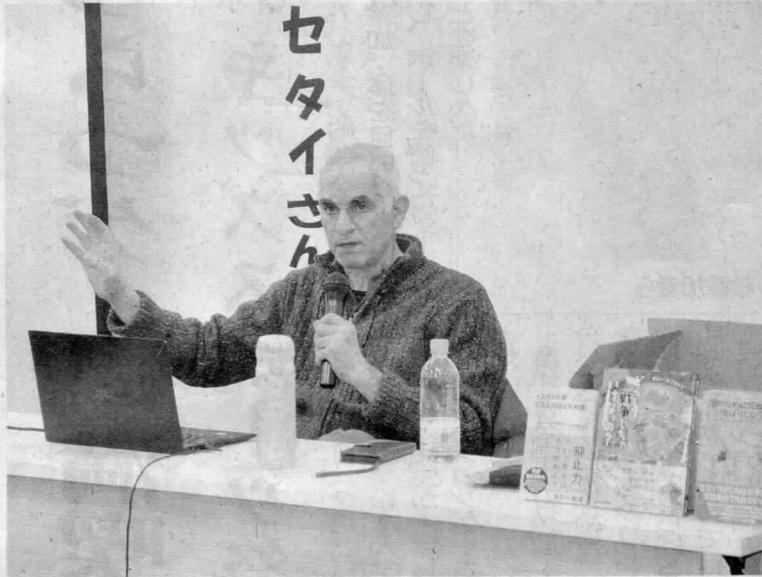


# 「同じ人間 次世代に教えて」

茅野市9条の  
会が講演会

元イスラエル軍  
兵士ネフセタイさん

## 非戦への思い語る



非戦論について講演したダニー・ネフセタイさん

元イスラエル軍兵士で埼玉  
県皆野町在住のダニー・ネフ  
セタイさん(68)の講演「イス  
ラエル軍元兵士が語る非戦論  
が24日、茅野市の市ひと・まち  
プラザであった。茅野市9条  
の会主催の講演会。市民ら1  
04人が、ネフセタイさんの  
非戦への思いに耳を傾けた。  
イスラエル出身のネフセタイ  
さんは高校卒業後、徴兵制

により入隊し、空軍に3年間  
所属した。退役後、アジアを  
巡る旅に出た際に来日。19  
88年に皆野町で「木工房ナ  
ガリ家」を開設し、現在は注  
文家具などの制作を続ける傍  
ら、平和や人権などをテーマ  
に講演活動を行っている。  
「国のために死ぬのは素晴  
らしい」との教育を信じてき  
たが、来日して疑問を覚えた

というネフセタイさん。かつ  
ては戦闘機のパイロットに憧  
れていたが、戦闘機の目的が  
人を殺すこと、物を破壊する  
ことだと気付く考えが変わっ  
た。

また、幼少期から「敵」だ  
と思っていたシリア人と日本  
で出会い、自分と変わらない  
人間だと気付いたとし、「敵  
という概念は、ゆがんだ教育  
とありから生まれる」と強  
調。「敵基地攻撃」などの表  
記があれば子どもたちは敵が  
いると認識するとし、大人の  
責任として「近隣諸国は敵で  
はないと伝え、肌の色、宗教、  
性別、民族、国籍を問わず、  
みんな同じ人間であることを  
次世代に教えなければならな  
い」と語った。

防衛費を拡大する日本政府  
の動きに危機感を抱いてお  
り、「80年前(戦時中)の日本は  
真つ暗な世の中で、今はグレ  
ーンゾーン。自分たちの子ども  
や孫に真つ暗な世の中を与え  
るか、希望にあふれる世の中  
を与えるかは私たち次第」と  
伝えた。

(町田陽)